

申請書の記載方法(注意事項と記載例)

(様式1)人権の約束事運動推進活動支援事業補助金交付申請書

- 1 活動の名称 点訳ボランティア親子体験教室
- 2 目的 点訳体験を通じて、視覚障害者のコミュニケーションについて理解を育む。
- 3 内容 小学校高学年の児童及び保護者の「人権の約束事」の点訳体験。
- 4 実施計画
(1)実施予定期間 自 令和6年 9月 3日
至 令和6年12月 4日
(2) (略)
- 5 補助金交付申請額 100,000 円
- 6~8 (略)
- 9 連絡先 (略)

令和7年2月28日までに終了する事業
活動終了後の整理期間等を含めた日程を記載

補助対象経費が10万円以上でも、
10万円が上限

申請書の内容等についてお尋ねすることがありますので、
担当者を決めてください

(様式2)実施計画書

- 1 活動の名称 点訳ボランティア親子体験教室
- 2 補助金の使途 講師謝礼、講師交通費、教材購入費、資料印刷費
- 3 参加予定人数 約 200人(1日目:100人、2日目:100人)
- 4 参加対象者 小学校高学年の児童・保護者
- 5 参加予定団体 ○○小学校PTA、○○協議会、○○委員会
- 6 補助金事業である旨の冠付け (有)・無
- 7 モモマルくん着ぐるみの利用希望 (有)・無
- 8 計画内容
日時:○月○日 ○時~○時
場所:○○市民センター、○○市民センター
内容:講義と実技(点字の読み方を学ぶ。点字版を使って自分の名前を書く。25個の人権の約束事の中からいくつかを自分で選んで、本のしおりを作成する)
- 9 約束事運動の周知方法 9・10は実施する項目にチェックを入れる
- 10 約束事運動への参加登録呼びかけの方法 10の参加登録を呼びかける団体は現時点の予定で可
- 11 約束事運動参加登録申込書の取りまとめ予定団体

様式1と同じ内容を記載

「どこで、どのような事業を行うのか」についてのみ簡潔に記載
どのように人権意識の向上に結びつけるのか具体的に記載
(書ききれない場合は適宜別紙で作成して添付)

会場使用時間と
講演時間を、
書き分けること

参加登録申込書の取りまとめは必須です。予定団体等を
記入してください。

注意実績報告時に予定団体数と同程度の参加登録申込書が
ご提出いただけない場合、補助金を返還していただくことが
あります。

(様式3)収支予算計画書

- 活動の名称 点訳ボランティア親子体験教室
- 1 収支予算
- 2 内訳
- 3 補助金交付先口座

様式1と同じ内容を記載

収入と支出のそれぞれの合計金額は一致させる(合計A = 合計B)
「ア 補助金」欄(2箇所)は、様式1の「補助金交付申請額」と同額を記載
「支出」欄は、補助対象経費と補助対象外経費に分けて記載
補助対象経費については、全て見積書の写し等、積算の根拠となる書類を添付

補助金交付決定後に振込先となる口座情報(活動団体名に限る)を記入

< 提出先・問い合わせ先 > 北九州市人権推進センター 人権文化推進課

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11番4号 大手町ビル(ムーブ)8F

(電話) 562-5010 (FAX) 562-5150

(ホームページ) <https://www.hotheart-kitaq.jp/> ※ 申請書データはこのホームページからダウンロードしてください。

マスコミキャラクター
「モモマルくん」



©はぎいわたつみ